横浜市立瀬ヶ崎小学校　学校便り
せがさきの風
大きな朝日さしのぼる　希望と愛の花が咲く
世界に窓を開け放つ　瀬小　瀬ヶ崎小学校
〒236-0037　横浜市金沢区六浦東三丁目２番１号
TEL 781-2446・2447　FAX 701-4892
ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/segasaki/
メールアドレス y3segasa@edu.city.yokohama.jp

７月号
2019（令和元）年
６月 28日発行

「やってみよう！」を支えるもの

副校長　角皆　裕文

「先生、ここ家族と何回も来たことあるけど、今日が一番楽しい！」

６月上旬、２年生と遠足に行ってきました。普段職員室にいることが多く、着任以来なかなか子どもたちと直接関わることがなかったので、遠足引率は瀬ケ崎小の子どもたちのことをよく知る貴重な機会となりました。冒頭のつぶやきは、レインコートを着て移動する際、ある児童が発したものです。

残念ながら雨に見舞われてしまいましたが、キラキラと光るイワシの群れに「スイミーみたい！」と歓声を上げたり、水辺の生き物に実際に触れてみたり、目一杯楽しむ姿がみられました。また、雨宿りをしながらアクアスタジアムでショーの開始を待つ間、大型スクリーンに映し出される映像に合わせて、立ち上がって一緒に踊り出す場面もありました。

中旬には５年生と一緒に三浦宿泊体験学習に参加しました。こちらはぐっと逞しい姿の仲間たちが“協力”をテーマに様々な活動に挑みました。行程中、天候には恵まれたのですが、風が強すぎたため予定されていた活動のいくつかは変更になりました。しかしながら、子どもたちは不満をもらすわけでもなく、それぞれの活動に夢中で取り組んでいたのが印象的でした。

これらの子どもたちに共通して感じられたのは、「目の前のことを肯定的に受け入れる心」です。自分の望まないもの、予期しないものや状況を目前にした時、私たち大人は、他人と比べてしまったり、デメリットを探してしまったりして、素直に受け入れることができないことが多くあります。比べて、前述の子どもたちは「やってみよう！」と、与えられた環境を肯定的に受け入れる力をもっていました。

「子どもは素直だから」と、よく言いますが、その素直さ（＝肯定的に受け止める心）は生まれつきのものではなく、生まれてから与えられる周囲からの愛情（肯定的な関わり）によって育まれた「自尊感情（自分を大切に思う気持ち）」によるものだとも考えられます。自分自身が満たされているから、相手のよいところを見つけられる。相手との違いを受け入れられる。自分自身が満たされているから、失敗を恐れずに新しいことにチャレンジできる。

子どもたちの生まれもった性格や力は様々ですが、それぞれの子どもたちがよいところを自覚でき、自信をもって力を発揮できる環境を作っていくのが、私たちの使命なのだと改めて強く感じました。